

平成30年度

佐久市社会福祉協議会事業計画書



佐久市社会福祉協議会
イメージキャラクター
さーくちゃん

平成 30 年度佐久市社会福祉協議会事業計画

【 基 本 方 針 】

地域社会全体の機能や世帯構造が大きく変化し、住民同士の支え合う力が低下し、社会的に孤立した方の増加など、市民が抱える福祉問題、ニーズも多様なものとなってきています。

このような中で、佐久市社協は平成 30 年度を初年度とする第三次佐久市地域福祉活動計画を踏まえ「人と人がつながり 支え合う地域づくり」を目指し、地域福祉の向上に向けた取り組みを進めていきます。

また、社会福祉法の改正や介護報酬の改定など、社会福祉法人である社会福祉協議会を取り巻く環境は変化していることから、「ガバナンスの強化」「財務規律の強化」などへの取組を引き続き行うとともに、介護サービス関係の事業所や、障がい者の就労支援関係の事業所の運営におきましても、利用者に寄り添ったサービスに努める一方で、組織体制の見直しや人事管理にも力を入れ、効率的な法人運営が行われるように事業展開を行います。

【 重 点 目 標 】

法人運営部門

- ◇ 法令等に従い人事管理を強化し、職員が働きやすい職場環境づくり
- ◇ 経営の効率化を図り、収支の改善に努める
- ◇ ガバナンスの強化のため、諸規定の整備を進め、組織規律の強化を図る

地域福祉部門

◇ 新規事業への取組

○ 家計相談事業

生活困窮者に対し、家計の状況を「見える化」し、利用者の家計管理の意欲を引き出す相談支援を行い、生活の早期再生を図る。「まいさぼ佐久」と連携を図り、生活困窮からの脱出方法を探り、生活及び精神の安定が図られるように支援する。

◇ 重点事業として4事業への取組強化

○ ふれあいいきいきサロン事業(サロン世話人交流会事業)

ふれあいいきいきサロンの世話人が、各地区で自主的に運営ができるように、世話人交流会を通して様々なプログラムの紹介や世話人同士の交流・情報交換を図る。全地区での開催を目指し、関係機関とも連携し事業の充実推進を図っていく。

○ ファミリーサポート事業「ほっと・ホット」

育児や介護に困っている家庭に対し、助っ人(支援員)が有償で支援を提供している。助っ人は、育児・介護それぞれに開催される講座を受講し、社協に活動登録を行っていただく。助っ人を確保し事業の推進を図る。

○ 結婚相談事業の充実

月2回、日曜日に実施している結婚相談日を、奇数月に1回平日の夜間に開催し、休日に勤務している人に対応する。結婚イベントも会場と内容の充実を図り、出逢いの場を提供していく。

○ さく成年後見支援センター事業

認知症・知的障がい・精神障がいなどによって、判断能力が不十分な方を対象に、成年後見についての相談や手続きの支援、研修会・出前講座、法人後見の受任などを行なう。

介護支援・障害支援部門

◇ 処遇改善に取り組み、現場職員の就労環境の改善に取り組む

◇ 事業実態を把握し、効率的な経営ができるような体制づくり

【事業実施計画】

法人運営拠点区分（法人運営サービス区分）		
事業No.	事業名	事業概要・平成30年度計画
1	法人運営全般 〔総務課〕	<p>○法人運営の庶務・会計に係る人件費と事務経費。 ○効率的な法人経営を行うために人事管理や財務管理の強化を図り、法人の運営基盤を固められるような体制づくりをおこなう。</p> <p>【庶務係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい職場づくりを目指し、人事管理や諸規定の整備を進め、ガバナンスの強化に取り組む。 ・職員研修を充実をさせ、資質向上を図る。 <p>【会計係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支改善に向け経営管理を強化するとともに、積極的な情報公開に努める。
	予算額	48,144千円
2	理事会・評議員会の開催 〔総務課〕	<p>○社会福祉法の改正による、ガバナンス強化等に引き続き取り組むため、円滑な理事会・評議員会を開催する。</p> <p>【理事会】年間3～4回程度開催予定 【評議員会】年間3～4回程度開催予定 【監査】中間監査を含む2回程度開催予定</p>
	予算額	1,218千円
3	社協会員の加入促進 〔総務課〕	<p>○住民の皆さんに地域福祉事業推進の貴重な自主財源である会費への協力をいただけるような事業展開をし、社協会員(社協会費)の加入促進につなげる。</p> <p>【平成30年度の社協会費見込額】 22,275,000円（対前年度22,500,000円）</p>
	予算額	1,726千円
4	共同募金委員会の運営・審査会の設置及び共同募金の推進 〔総務課〕	<p>○平成30年度より共同募金委員会を新たに設置し、配分委員会を設けることで募金配分の透明化を進めると共に、市民や企業へ募金協力いただけるよう活動強化を図る。</p> <p>【平成30年度配分予定額】10,388,000円（対前年度10,547,000円）</p>
5	高齢者緊急連絡票の作成と配布 〔総務課〕	<p>○市内の一人暮らし高齢者を対象に、緊急時に関係者及び関係機関へ早期に連絡するための連絡票を配布し、冷蔵庫の扉表面の見やすい位置にマグネットで張り付ける。</p> <p>平成30年度は新規希望者を対象に配布予定。500世帯を予定。</p>
6	災害ボランティアセンターの設置 〔総務課・福祉課〕	<p>○甚大な災害が発生した際に、関係機関との連絡調整を図り、災害ボランティアの受入れと作業の割振りを迅速に行い、被災者の支援につなげるため、市災害対策本部の要請を受け、災害ボランティアセンターを設置運営できるよう、市総合防災訓練に参加する。</p>

地域福祉拠点区分（福祉課運営サービス区分）		
事業No.	事業名	事業概要・平成30年度計画
7	地域福祉推進に係る人件費	○地域福祉事業を推進する本所地域福祉係、臼田支所、浅科支所、望月支所の人件費。多くの事業が兼務で行われているため、拠点単位での一括計上とする。 ○自立相談支援事業との連携による、人件費の計上
		予算額 67,961千円
地域福祉拠点区分（共同募金サービス区分）		
事業No.	事業名	事業概要・平成30年度計画
8	敬老訪問祝い事業 〔福祉課〕	○100歳到達者並びに男女最高齢者で市長・社協会長・老人クラブ連合会会長の敬老訪問を希望する方に対して、市と合同で敬老訪問を実施する。 また、米寿者に対しては、地元の民生児童委員と同行訪問し祝品と祝状を贈呈する。 ○【米寿予定者】711人 【100歳到達者】48名
		予算額 1,935千円
9	敬老会助成事業 〔総務課〕	○各地区で開催している敬老会に助成し、地域活動を支える組織の活性化を図る。 ○平成30年度市内70歳以上 24,111人 ※1人当たり600円(社協300円+市300円)
		予算額 14,528千円
10	社会福祉普及校指定事業 〔福祉課〕	○社会福祉の理解と関心を高め、日常生活の中で思いやりの心を育む活動を行なっている小学校・中学校・高等学校・専門学校・大学等希望する学校に助成を行う。 ○【申請予定校】・小学校16校 ・中学校6校 ・高校5校 ・専門学校2校 ・大学1校 ※1校当たり30,000円
		予算額 921千円
11	福祉体験教室 〔福祉課〕	○小・中・高校生等を対象に、障がいをお持ちの方の体験談や、手話・車いす・点字等の福祉体験をとおして、福祉に対する理解を深め思いやりの心を育む福祉学習を行う。 ○社会福祉普及校助成金も活用してもらい、より充実した体験教室ができるようにする。
		予算額 306千円
12	佐久市社会福祉大会の開催及び長野県社会福祉大会への参加 〔総務課〕	○地域福祉功労者を表彰するとともに、実践発表、記念講演を通して地域福祉に対する意識の向上を図る。 ○佐久市社会福祉大会（市と共催で年1回開催） 【日時】平成30年11月20日 佐久平交流センター ○長野県社会福祉大会 【日時】平成30年9月12日 塩尻市文化会館レザンホール
		予算額 414千円
13	社協ホームページ活用 〔総務課〕	○社協事業の啓発のため、アクセスしやすく事業内容が分かりやすいサイトとなるよう充実を図る。 ○H29年度アクセス数 15,877件（H30.3.1現在） ○H30年度アクセス目標 18,000件
		○広報紙「ぴーぷる」を毎月（奇数月）発行することで、社協の事業の理解を深め、興味を持ってもらえるようにする。 ○H30年度 1回 35,300部 年6回発行
		予算額 1,897千円

地域福祉拠点区分（共同募金サービス区分）		
事業No.	事業名	事業概要・平成30年度計画
14	心配ごと相談所の開設 〔福祉課〕	○市民が抱える諸問題や心配ごと等の相談を受ける。相談の内容によっては、法律の専門家(弁護士・司法書士)につなぎ、初回(1時間以内)の相談料は社会福祉協議会が負担をする。 ○開設日：毎月第2火曜日。午後1時30分～4時。 ○開設場所：福祉総合センター、あいとぴあ白田、浅科保健センター望月支所において順番に開催
	予算額	202千円
15	結婚相談所の開設 〔福祉課〕	○毎月2回、相談員6名が交代で結婚相談事業を開催。 ○開催場所：佐久市福祉総合センター。 ○開催日：偶数月は隔週の日曜日、奇数月は隔週の日曜日と月曜日または水曜日。 ○相談時間：平日は午後2時～7時50分。日曜日は午後1時30分～4時。相談時間は1回30分で予約が必要。
	結婚イベントの開催 〔福祉課〕	○年1回広く参加者を募集し、男女の出逢いの場(婚活イベント)を設定する。成婚につながるよう相談員も参加しサポートをおこなう。 ○年1回社協結婚相談所の登録者を対象に、少人数による出逢いの場を提供する。 ※イベント開催時参加者負担金あり
予算額	1,202千円	
16	福祉団体助成事業 〔福祉課〕	○社会福祉活動の推進を目的とする福祉団体に対して、予算の範囲内で助成金を交付する。 (助成団体)・佐久市民生児童委員協議会・佐久市赤十字奉仕団・佐久市老人クラブ・佐久市戦没者遺族会・佐久市保護司会・佐久市身体障害者福祉協会・佐久市母子寡婦福祉会・佐久市手をつなぐ育成会・佐久市精神障がい者家族会・佐久市更生保護女性会・聴覚障害者協会・佐久手話サークル・佐久市保育協会・佐久市保育園保護者会連合会・佐久市食生活改善推進協議会・佐久市肢体不自由児(者)父母の会
	民生児童委員協議会活動との連携 〔福祉課〕	○「ふれあいいきいきサロン」事業や、ひとり暮らし高齢者等の安否確認事業など、様々な地域福祉活動に関する情報交換や協働活動の連携を、引き続き図っていく。
	赤十字奉仕団との連携 〔福祉課〕	○赤十字奉仕団が積極的に行っている、災害時の炊き出し訓練、救急法講習会等とおして、多くの市民に積極的に事業に係っていただき、赤十字奉仕団活動を地域に浸透させ、有事の際にスムーズな活動ができることを目指し、地域の連携を強化する。 【救急法講習会受講料】800円～1,700円(講習内容による)
	老人クラブ活動の支援 〔福祉課〕	○高齢者が知識や経験を生かして、魅力ある活動や地域貢献活動ができるように支援する。仲間づくり、健康づくりのイベントを通して、会員の増加を図るよう連携する。
予算額	1,748千円	
17	希望の旅事業 〔福祉課〕	○普段外出する機会の少ない、在宅の心身障がい者とその家族を対象に、生きがいを高め仲間同士の交流・情報交換の場を提供する。 【目的地】群馬県庁・敷島公園バラ園(予定) 【参加者】70人程度 【参加者負担金】一人2,500円
	予算額	457千円
18	誰もが安心して暮らせるまちづくり事業	○「バリアフリーマップ」については、随時社協ホームページへの掲載依頼を行う。携帯用(紙ベース)については隔年で作成予定。(H29年度作成)
	予算額	173千円

地域福祉拠点区分（地域福祉サービス区分）

事業No.	事業名	事業概要・平成30年度計画
19	ボランティアセンター機能の充実 〔福祉課〕	○ボランティアコーディネーターを本所並びに支所に配置し、ボランティアの育成、ボランティア活動に関する相談や需給調整等ボランティアセンター機能の充実を図る。また、ボランティア活動を広げるために、住民のニーズに沿ったボランティア養成講座や研修会等を開催する。
	ボランティアの育成 〔福祉課〕	○ボランティアの相談・斡旋・登録等を行うとともに、地域のニーズに沿った講座、学習会、研修会等を開催し、受講修了者には、ボランティア登録を促す。
	佐久ふれあい広場の開催 〔福祉課〕	○障がいの有無、老若男女を問わず市民に「出会い・ふれあい・語り合い」の場を提供する。社協は事務局として、ボランティア団体や福祉施設等関係者が実行委員会を組織して運営を行う。
	予算額	2, 769千円
20	シニアの“力”アップ講座開催 〔福祉課〕	○地域で暮らしている、元気で知識と経験が豊富なシニア世代の男性が、ボランティア活動や地域活動に参加するための、きっかけづくりを目的に開催する。 ○開催内容：地域活動、ボランティア活動の説明及び調理実習（佐久の食材を使って食生活について学ぶ） 【参加者負担金】 一人300円
	予算額	28千円
21	安心コール事業 〔福祉課〕	○孤独で単調になりがちなひとり暮らし高齢者に、ボランティアの方が電話による安否確認と話し相手を行う。コールの頻度は、対象者の希望に合わせる。何かあった際には、社協をとおして関係機関につなぐ。
	予算額	294千円
22	お元気レター事業 〔福祉課〕	○ボランティアが描いた絵手紙を、ひとり暮らし高齢者等に郵送し、安否確認を行う。郵便物等が溜まっていた時には、社協をとおして関係機関につなぐ。
	予算額	316千円
23	ファミリーサポート事業「ほっと・ホット」 〔福祉課〕	○地域で誰もが安心して、助けあいながら生活できる地域づくりを推進していくために、子育て・介護に手助けが必要な方と、手助けができる方がつながるように、社協が活動の連絡調整を行う ○活動は1時間700円～800円の有償サービス。
	ファミリーサポート“助っ人”養成講座 〔福祉課〕	○ファミリーサポート事業「ほっと・ホット」がスムーズに運営できるように、助っ人（手助けをする人）の養成と登録を行う。 ○【育児助っ人講座】 ・子供とのふれあい方・遊ばせ方、保育園での現地実習、救急時の対応方法等 ○【介護助っ人講座】 ・高齢者の特性、認知症学習、救急法講習等
	予算額	224千円
24	パパ・ママ応援事業 〔福祉課〕	○子育て支援の一環として、育児ストレスの解消を図り、情報交換・仲間づくり・世代間交流等のきっかけを提供する。講座には託児所を設置し、参加しやすい配慮をおこなう。 ・パパ講座：調理実習 等 ・ママ講座：講演会 等 【参加者負担金】 一人450円 ※事業を開始し3年が経過した。参加者の状況や感想を聴く中で、事業の継続について検討する。
	予算額	48千円

地域福祉拠点区分（地域福祉サービス区分）

事業No.	事業名	事業概要・平成30年度計画
25	災害ボランティア講座 〔福祉課〕	○防災に係る意識や心構えの習得により防災力を高めるとともに、災害ボランティアセンター設置の際のボランティアスタッフとしての登録を講座受講者に呼びかける。 ○講座内容：講演会、炊き出し体験、災害ボランティアセンター設置・運営模擬体験（市総合防災訓練に災害ボランティアセンター設置スタッフとして参加）
	予算額	41千円
26	ふれあいいきいきサロン事業 〔福祉課〕	○高齢者等を対象に、地域での孤立化・閉じこもりを防ぎ、健康で生きがいを持って生活が送れるよう、地区の公会場等で開催。未実施地区の立ち上げについては、市、社協、地域包括支援センター、民生児童委員等と連携して開催する。
	ふれあいいきいきサロン世話人交流会事業 〔福祉課〕	○「ふれあいいきいきサロン」の世話人を対象に、様々なプログラムの紹介や世話人同士の交流・情報交換を行う。内容のマンネリ化、世話人の高齢化と固定化、公民館等への移動手段の問題等、解決に向けたグループワークを行い、サロンの活性化に役立てる。 ○交流会開催予定：各地区（佐久・臼田・浅科・望月）ごとに1回と佐久市内全地域を対象に1回
予算額	1,848千円	
27	地区社協活動の支援並びに助成 〔福祉課〕	○市内7地区に地区社協を設置し、それぞれの地域に応じた活動を、地区社協独自に開催する（先進地の視察研修や各種講習会、お楽しみ会等）
	予算額	1,441千円
28	認知症徘徊SOS模擬訓練 〔福祉課〕	○認知症による徘徊行動に対し、地域で見守る体制づくりを進めるため、「認知症についての学習」「徘徊SOS模擬訓練」を実施し、徘徊者の早期発見、早期対応を地域住民と連携して行う。 ○平成30年度は3地区で実施予定
	予算額	50千円
29	地域福祉活動計画評価 〔福祉課〕	○第二次地域福祉活動計画（平成29年度事業）の評価を行う。
	予算額	60千円

30	各区との連携 〔福祉課〕	○要援護者を日常的に支えられるように、区長会を通じて各区長と連携を図り、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指す。
31	PTA連合会・保育協会等との連携 〔福祉課〕	○両団体との連携強化を図り、保育協会には、育児助っ人養成講座の講師並びに実習指導等の協力をいただく。
32	地域包括支援センターとの連携 〔福祉課〕	○地域で生活する高齢者に関する情報の共有と、適切な対応に向けた連携体制の強化を図る。また、高齢者の権利擁護における窓口として、日常生活自立支援事業及び成年後見制度利用への連携と情報の共有を図る。
33	災害時住民支え合いマップの作成協力 〔福祉課〕	○市福祉課と連携し推進を図り、支え合いマップ見直し時に、立ち合いの依頼があれば市職員と一緒に地域に出向く。

地域福祉拠点区分（長野県社会福祉協議会受託事業）		
事業No.	事業名	事業概要・平成30年度計画
34	生活福祉資金貸付事業 〔福祉課〕	○高齢者世帯や障がい者世帯、低所得世帯に対し、自立した生活に資するための貸付を行う。また、生活困窮者で就労支援が必要な人に対し、「まいさぼ佐久」と連携を図り、家計相談等の指導に当たる。 ○貸付資金の種類 ・ 総合支援資金 ・ 福祉資金 ・ 教育支援資金 ・ 不動産担保型資金
	予算額	1, 296千円
35	日常生活自立支援事業 〔福祉課〕	○判断能力が不十分な、高齢者や障がいのある方々が、住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用などに関わる相談や援助をし、その生活を支援する。本人のみでなく、家族を含め様々な問題を抱える方が増えており、成年後見支援センターや関係機関との連携がより重要となる。
	予算額	2, 000千円
地域福祉拠点区分（佐久市受託事業）		
事業No.	事業名	事業概要・平成30年度計画
36	シルバークッキングスクール事業 〔福祉課〕	○60歳以上の男性を対象に、参加者の仲間づくりとひとり暮らしでも、食生活が困らないように、身近な食材を使って、気軽に調理ができるように、栄養士及びボランティアの協力により毎月1回開催する。【開催場所】白田支所、浅科支所 【参加者負担金】一人年額4,800円
	予算額	536千円
37	高齢者等給食サービス事業 〔福祉課〕	○70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、手作り弁当の配食を通して、安否確認や健康状態の確認、孤立感の解消を図る。 ○地域の民生児童委員やボランティア、JA女性会等に協力いただき実施。【利用料】1食100円
	予算額	3, 038千円
38	家庭介護者支援交流事業 〔介護サービス課〕	○家庭で介護している方を対象に介護負担軽減を図り、心身共にリフレッシュしながら、介護情報の共有を図る。 ○春・秋は温泉と観光（近隣市町村）を企画し、それ以外は交流会や作品作り等を企画。 チラシを関係機関に配布して参加者を増やせる様に努める ※参加者負担金あり
	予算額	261千円
39	福祉バス運行事業 〔福祉課〕	○交通手段の確保困難な、馬坂・広川原地区の高齢者等の移送手段を確保することを目的に、月1回、福祉バスを運行する。
	予算額	150千円
40	*新規事業 家計相談事業 〔福祉課〕	○生活困窮者に対し、家計の状況を「見える化」し、利用者の家計管理の意欲を引き出す相談支援を行い、生活の早期再生を図る。「まいさぼ佐久」と連携を図り、生活困窮からの脱出方法を探り、生活及び精神の安定が図れるように支援する。
	予算額	1, 187千円
地域福祉拠点区分（佐久広域連合受託事業）		
事業No.	事業名	事業概要・平成30年度計画
41	さく成年後見支援センターの運営 〔福祉課〕	○平成28年度から事業受託。認知症・知的障がい・精神障がい等によって、判断能力が不十分な方を対象に成年後見人・保佐人・補助人（法定後見）が本人のために活動し、財産と生活を守る。 ○相談及び制度利用支援、制度の普及・啓発及び研修の開催、法人後見及び第三者後見人候補者の情報提供、市民後見人候補の養成、法人後見の受任を引き続き行う。
	予算額	9, 114千円

介護保険・障害支援拠点区分（介護サービス課運営）			
事業No.	事業名	事業概要・平成30年度計画	
42	介護支援・障害支援サービスの運営庶務	○介護支援・障害支援サービスを運営するための、関係機関への申請手続きや、保険請求等の事務を担当する職員の人件費。	
	予算額	10,334千円	
介護保険・障害支援拠点区分（予防事業）			
事業No.	事業名	事業概要・平成30年度計画	
43	介護予防通所型事業（通所型サービスA） 〔介護サービス課〕	○介護予防対象者に運動や脳トレ、生きがい活動事業を提供する。 なお、市委託事業の脳トレ事業は平成29年度をもって廃止。 ○【教室数】8教室19人定員で月に2回の開催予定。 【会場】サングリモ中込を借りずに長寿閣と白田老福を利用。 *平成30年度上半期の事業状況を見て事業の廃止を含め検討する。 下半期で利用者の今後について調整する。	
	予算額	14,024千円	
介護保険・障害支援拠点区分（居宅介護支援事業）			
事業No.	事業名	事業概要・平成30年度計画	
44	社協ケアプランセンター佐久 〔介護サービス課〕	○要介護者等に対し、介護保険サービスや地域の社会資源等を適切に利用できるように要介護者等の依頼を受けて介護サービス計画の作成等を行う。 ○介護保険制度改正に伴い、医療との連携の強化や質の高い公正中立なケアマネジメントを継続して行っていく。	
	予算額	27,314千円	
介護保険・障害支援拠点区分（老人居宅介護事業）			
事業No.	事業名	事業概要・平成30年度計画	
45	ヘルパーステーションさく 〔介護サービス課〕	○要介護者等に対し、入浴、排泄、食事の介護その他全般にわたる介護をケアプラン及び訪問介護計画に添って行う。 ○平成30年度からヘルパーステーションうすだをヘルパーステーションさくに統合した。統合による影響を注視し、在宅での介護や生活を支える上で、様々なケースに対応できるよう、職員のスキルアップを図り、適切な援助・介護相談を行う。	
	予算額	44,176千円	
介護保険・障害支援拠点区分（老人デイサービス事業）			
事業No.	事業名	事業概要・平成30年度計画	
46	<ul style="list-style-type: none"> ・佐久市前山デイサービスセンター ・佐久市あいとぴあ白田デイサービスセンター ・佐久市浅科デイサービスセンター 〔介護サービス課〕	○予防相当利用者を含め要介護1から5までの利用者を受け入れ、送迎・健康状態の管理・入浴・生活リハビリ・レク活動・食事の提供を行っている。 【定員】 前山 一般 20人 認知症 10人 白田 一般 30人 認知症 10人 浅科 一般 25人 ○サービス提供時間区分の改定による介護報酬単位減の影響もあり、施設運営は厳しい状況にあるが、地域性を活かし、地域に根ざしたサービスを提供していく。 また、職員のスキルアップに努める。	
		○介護者の出産・疾病・冠婚葬祭などによる、一時的な被介護者の短期間入所を受け入れ、介護者及び被介護者の福祉向上を図る。	
		予算額	58,520千円
		予算額	91,733千円
	予算額	52,712千円	

介護保険・障害支援拠点区分（特定相談支援事業）

事業No.	事業名	事業概要・平成30年度計画
47	特定相談支援事業 〔介護サービス課〕	○障害のある方が自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、生活相談支援計画の作成、関係機関との連絡調整を行う。 ○特別支援学校卒業生、精神病棟からの退院者の新規利用を受け入れ、自立のための支援計画の作成に努める。
予算額		13,485千円

介護保険・障害支援拠点区分（障害福祉サービス事業）

事業No.	事業名	事業概要・平成30年度計画
48	障がい福祉サービス事業 〔介護サービス課〕	○障がいのある方を、居宅において入浴・食事等の介護のために介護員を派遣し、日常生活を営むのに必要な支援を行う。 ○ヘルパーステーションと同じ事業所で事業を行っているため、統合による影響を注視し、サービス提供には専門的な知識が必要なため、研修等で職員教育を行っていく。
予算額		7,343千円

介護保険・障害支援拠点区分（障害福祉サービス事業就労継続支援B型）

事業No.	事業名	事業概要・平成30年度計画
49	・白田共同作業センター ・浅科ふれあいホーム 〔介護サービス課〕	○障がい者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、通所により、生産活動その他の活動機会の提供を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の支援を行う。 【定員】白田 20人 浅科 20人 ○作業環境の整備・施設外就労支援の充実・職員のスキルアップにより、利用者の作業意欲・就労意欲を高め、工賃アップを図るとともに、企業等への就労支援を積極的に行う。
予算額		34,951千円
予算額		36,623千円

50	介護予防・日常生活支援総合事業 〔介護サービス課〕	○生活機能や歩行能力等の低下が見られる高齢者に対して、日常動作訓練やリハビリ、栄養指導など、個人にあった介護予防指導を行う。包括支援センターと連携を取りながら、介護予防に努めていく。
----	------------------------------	---

施設管理運営拠点区分（施設管理運営事業）

事業No.	事業名	事業概要・平成30年度計画
51	佐久市老人福祉センター「長寿閣」 〔福祉課〕	老人福祉法20条の7に基づく施設運営（自己所有） 1 高齢者の憩いの場所や各地区いきいきサロンの開催場所の提供 2 老人クラブ活動のための施設供与と育成 3 レクリエーション活動の増進と各種講座の開設 4 入浴施設の提供 ○年間見込利用者数 約17,000人 【風呂利用料】 一人100円
	予算額 14,200千円	
52	佐久市白田老人福祉センター 〔福祉課〕	老人福祉法20条の7に基づく施設運営（自己所有） 1 老人クラブの育成 2 高齢者の憩いの場の提供 3 高齢者の趣味の会の育成 4 入浴施設の提供 ○年間見込利用者数 約3,000人 【風呂利用料】 一人100円
	予算額 6,376千円	
53	佐久市福祉総合センター 〔福祉課〕	○福祉団体並びにボランティアグループに会議室等を無料で開放し、活動の活性化とボランティアの育成を図る。 ○年間見込利用者数 約8,000人
	子育てグループ活動の支援 〔福祉課〕	○社協所有の施設を拠点として利用していただくことで、子育てグループ間の情報交換、協働活動を図り、新たな活動の展開を促す。
予算額 3,900千円		

施設管理運営拠点区分（指定管理事業）

事業No.	事業名	事業概要・平成30年度計画
54	佐久市白田総合福祉センター あいとびあ白田 〔福祉課〕	指定管理（佐久市） 期間 平成27年4月～平成32年3月 1 基本協定に基づく施設の管理 2 地域における総合福祉及びふれあいの拠点として、市民の福祉と意識の高揚を図ることを目的に管理運営を行う。 ○年間見込利用者数 約66,000人
	予算額 35,100千円	
55	浅科保健センター 〔福祉課〕	指定管理（佐久市） 期間 平成30年4月～平成35年3月 1 基本協定に基づく施設の管理 2 市民の健康の保持及び保健衛生の向上に資するための総合的な保健サービスの拠点として管理運営を行う。 ○年間見込利用者数 約9,000人
	予算額 4,400千円	
56	佐久市浅科生きがい活動支援センター 〔福祉課〕	指定管理（佐久市） 期間 平成27年4月～平成32年3月 1 基本協定に基づく施設の管理 2 高齢者の生きがい対策及び介護予防を図ることを目的に管理運営を行う。 ○年間見込利用者数 約2,500人
	予算額 3,400千円	
57	佐久市望月老人福祉センター 〔福祉課〕	指定管理（佐久市） 期間 平成27年4月～平成32年3月 1 基本協定に基づく施設の管理 2 地域の高齢者の健康増進、憩いの場として施設の保守管理、利用者の送迎、入浴業務、地域サロンの開催場所としての活用促進する。 ○年間見込利用者数 約8,000人 【風呂利用料】 一人100円
	予算額 13,648千円	
58	佐久市望月生きがいセンター 〔福祉課〕	指定管理（佐久市） 期間 平成28年4月～平成31年3月 1 基本協定に基づく施設の管理 2 地域の高齢者を主たる利用者として、その活動拠点や交流の場として施設の管理運営を行う。
	予算額 680千円	